

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業が立地し、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。

市内企業のものづくり・人づくりを紹介！
企業のちから

No 8 The company in Shirakawa

(株)キャスト白河工場
CAST CO., LTD.

住所：東上野出島字笹久保2
事業内容：普通鋳鉄、ダクタイル鋳鉄、特殊鋳鉄、超抗張力鋳鉄などの製造および販売

120余年の歴史が誇る技と最新のIT技術を駆使するクリーンファクトリー。



- 1 鋳造製品の産業用ロボット部品とロボットの完成形。
- 2 工場周辺は森に囲まれ、緑豊かな環境です。
- 3 毎日の朝礼・昼礼で「やるぞコール」の復唱や挨拶を徹底して行っています。
- 4 工場長の田中さん。取材の際は丁寧に工場を案内してくれました。
- 5 溶かした金属を型に流し込む作業。温度は約1,400℃です。
- 6 社長の酒井さん。日本鋳造協会の理事も務めています。

「私たちの会社は、溶かした金属を型に流し製品を製造する鋳造メーカーです。鋳造業は3K（きつい・汚い・危険）のイメージが強いと思いますが、それらを払しょくするため、工場のクリーン化を徹底しています」と話す白河工場長の田中栄さん。

キャストは、明治22年に東京都（江東区）で創業（創業時は酒井鋳造所。平成5年に現社名に変更）。以来123年の歴史に培われた固有の技術と、最新のIT技術を組み合わせ、産業用ロボットの部品など、複雑な鋳造品を製造しています。

平成6年に、立地条件や自然等の周辺環境が自社のビジョンに適合したことから、工場を東京から旧東村に全面移転し、地域雇用に貢献しています。

敷地面積は42,846㎡、社員は約70人。鋳造の専門的な知識を学ぶ“鋳造カレッジ”に若手社員を参加させ鋳造技師の資格を取得させるなど、人材育成に力を注いでいます。また、2S（整理・整頓）の徹底でクリーンな工場の維持に努めています。

「市内の素材材産業（鋳造、鍛造、プレス、熱処理、加工等）が結集し、地域での協体制を確立させるため”白河素材材ヴァレー”が発足しました。このネットワークから、人材育成、会社利益の向上、地域社会の発展につなげていきます」と社長の酒井英行さんはほほえみながら話してくれました。

白河市民への愛がいっぱい

全国から白河市に多くの義援金・寄附金が届きました。ここでは、10月16日から11月15日までの提供者をご紹介します。義援金・寄附金は、被災者の支援と本市の復興のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

振込された方については、カタカナで表記させていただきます。11月16日以降の義援金・寄附金については次号でお伝えします。

- (株)若林商店 様
- (株)光陽社どんぐり会 様
- 不二家川島ベイシア店 (有)マルタ商会 田崎徹也) 様
- 信越半導体(株)白河工場チャリティコンペ参加者一同 様
- 大信川まつり実行委員会 会長 塩田一弥 様

《仮設住宅等支援者をご紹介します》
(10月22日～11月21日)

- 日本カイロプラクターズ協会 様
- 明日飛子ども自立の里 様
- 栃木ボランティアネットワーク 様
- スズヤ鍼灸治療院 様
- 白河みみずく 様
- 札幌・ハーモニー気功会 様

Introduction of the cover 今月号の表紙

今月号の表紙は、11月11日にJR白河駅前の県道（白河羽鳥レイクライン）を舞台に行われた、白河初の自転車ロードレース「Giro d' shirakawa 2012」の様子です。

このイベントは、白河商工会議所青年部の設立30周年を記念して開催されました。

一般の方に加え、プロ競輪選手や、ロンドンパラリンピック自転車競技銅メダリストの藤田征樹選手が出演し、スピード感あふれるレースが繰り広げられました。また、子どものレースや仮装レース、プロ選手による競輪のデモンストレーションなどもあり、参加者はもちろん、沿道で見る人も楽しみました。

「いいね！」を押して市の情報をチェック



<https://www.facebook.com/city.shirakawa>